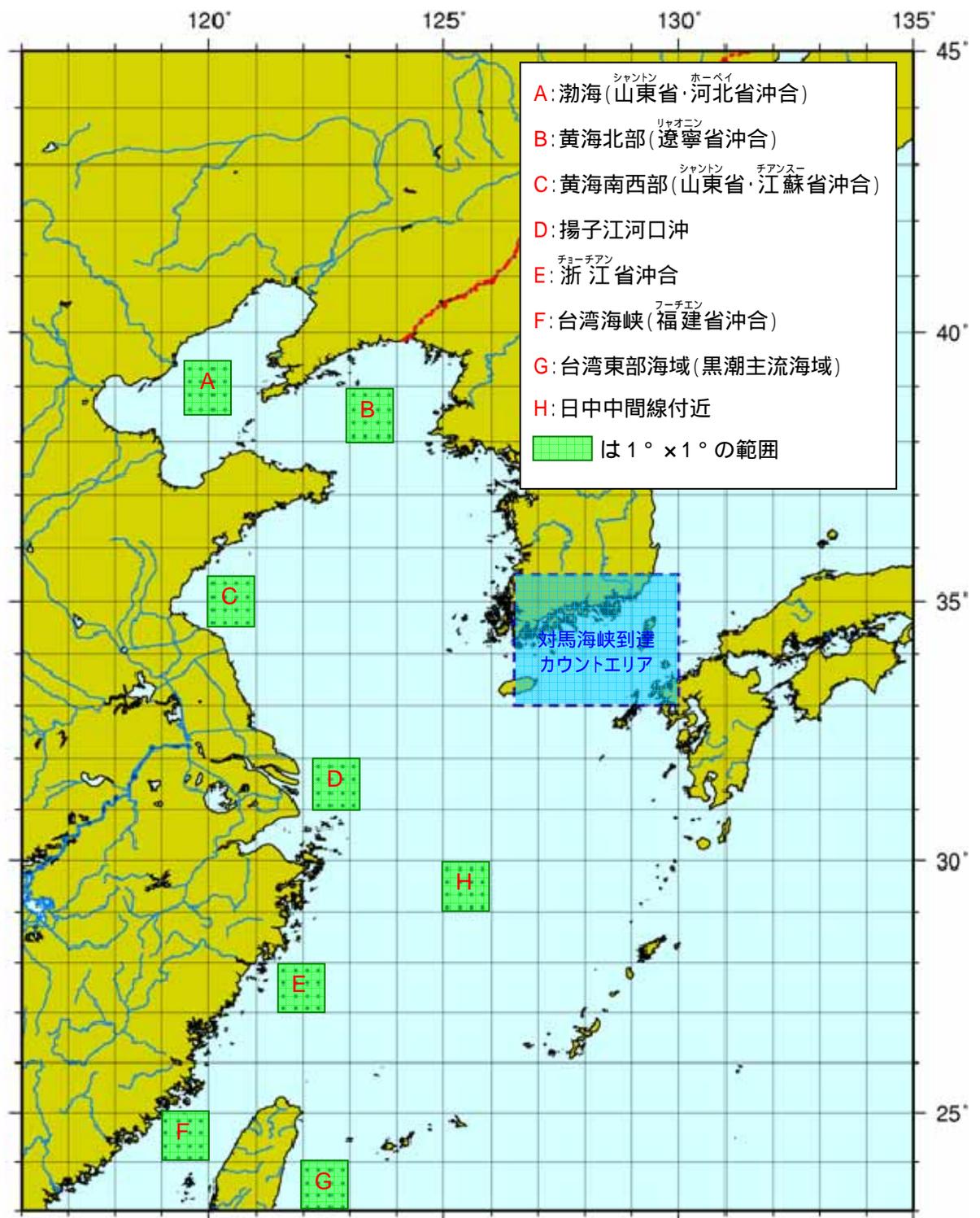


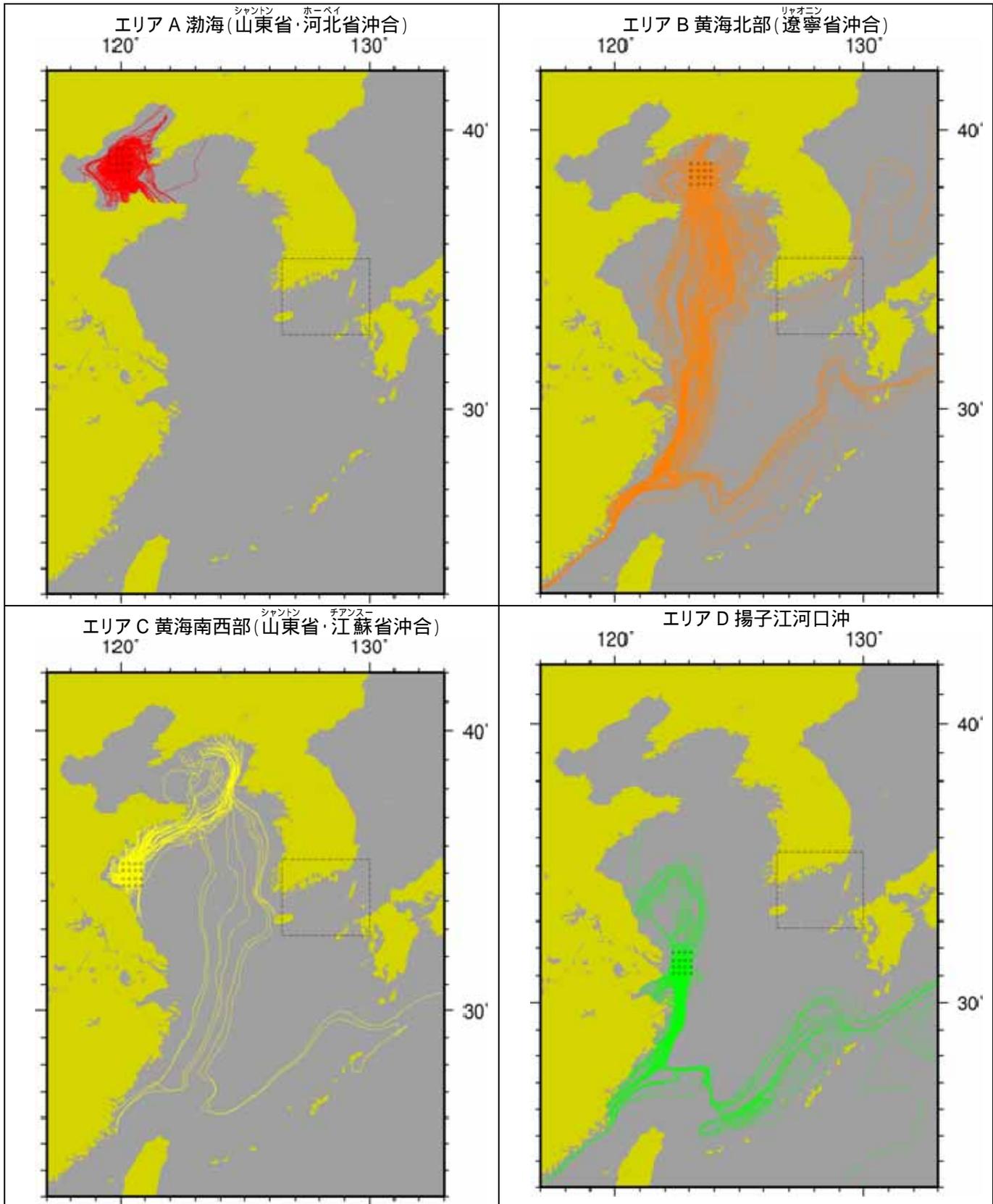
< 出典：国際的削減方策調査 >

図 3.4-4(3) 韓国東岸からの発生を想定したゴミの漂流経路



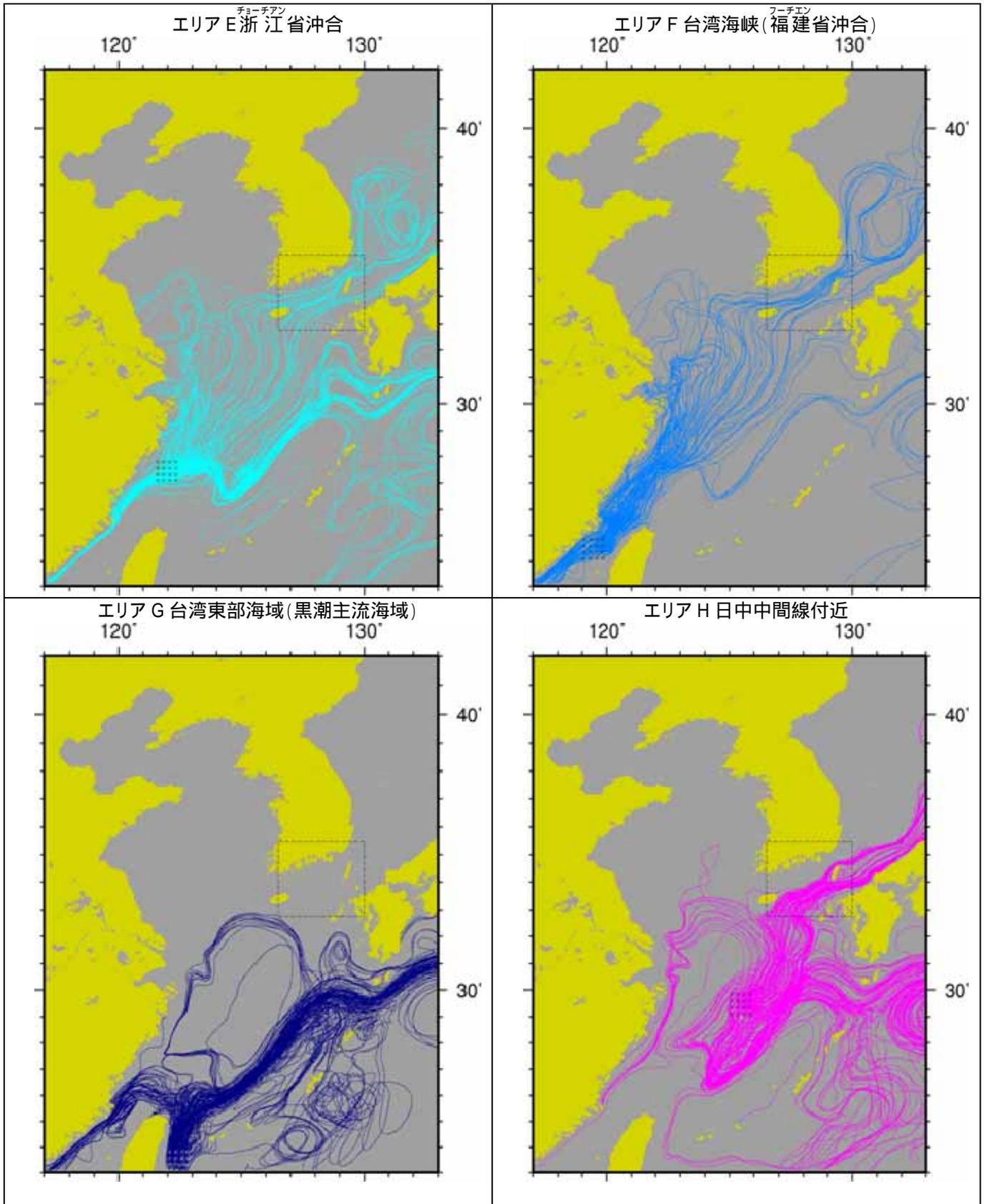
< 出典：国際的削減方策調査 >

図 3.4-5 漁業用フロートの投入位置



< 出典：国際的削減方策調査 >

図 3.4-6(1) 漁業用フロートの投入エリア別漂流経路



< 出典：国際的削減方策調査 >

図 3.4-7(2) 漁業用フロートの投入エリア別漂流経路

3.5 国内におけるライターの発生場所の推定

三重県答志島においてクリーンアップ調査(共通調査及び独自調査)で回収されたライターを用いて、住所や電話番号などの記載されている情報から発生場所の推定を試みた。あくまで表記されていた情報によるため、実際の消費地とは必ずしも一致しない。回収個数は2,106個で、その内情報が得られたのは131個であった。

発生場所の推定結果を、図 3.5-1 に示す。赤色の塗りつぶしのプロットは、ライターに表記されていた住所の地点を示す。薄い赤色の円は、ライターからの情報が市町村名までや電話番号のみであるため、市町村中心部にプロットした。

推定される発生場所は、伊勢湾の周囲に全域的に分布していることがわかる。また、伊勢湾に面した海岸だけでなく、内陸側にも分布していることがわかる。東京方面にもプロットがあるが、これらはそこから漂流して答志島へ直接流れ着いたとは考えにくい。調査範囲に漂着するライターの発生源を考察するためにはサンプル数が十分ではないが、これらの結果はライターの発生場所の傾向を示すとともに、発生源推定の手法の有効性を示すものと考えられる。

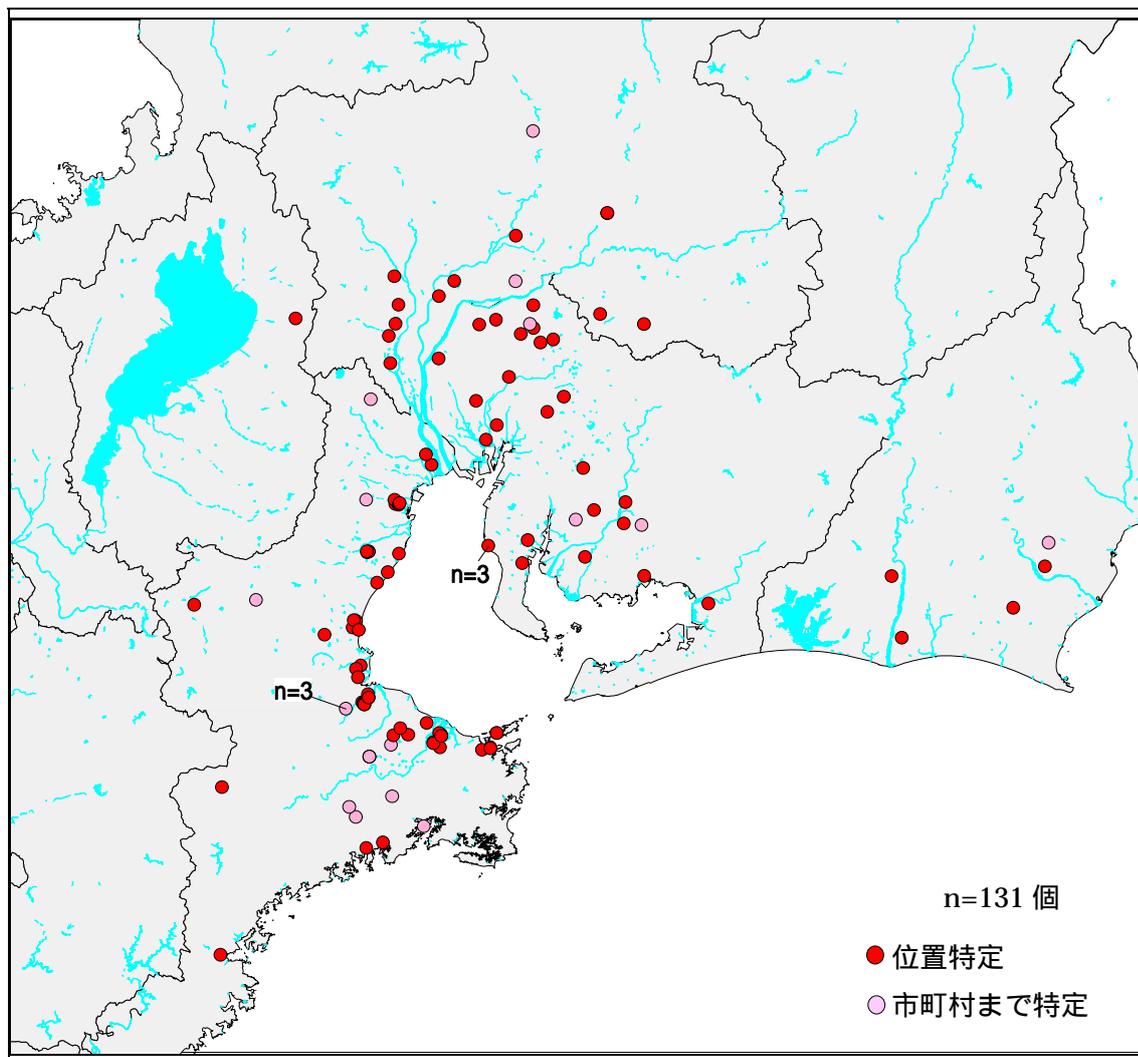


図 3.5-1 ライターの発生場所の推定結果